

武蔵村山市総合防災訓練に参加しました

令和4年1月11日(火)

避難所では、市の職員の人数に限りがあります。避難するかしないかを考えることから、体調に問題がない市民は、自分も避難所運営の歯車となり、頼まれたことや、できることはやるという意識を持つ必要があります。

家庭での日常備蓄の見直し、家族で171の伝言ダイヤルの使い方を共有することなど日頃からの備えが大切です。



体験できます!

【171伝言板ダイヤル(NTT東日本ホームページより)】

体験利用提供日

- ・毎月1日,15日 00:00~24:00
- ・正月三が日(1月1日00:00~1月3日24:00)
- ・防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)
- ・防災とボランティア週間
(1月15日9:00~1月21日17:00)

自治功労者・一般表彰者表彰式に、来賓として出席

表彰されました皆様、おめでとうございます。そして、地域のためにありがとうございます。

東京パラリンピック銅メダリスト、車イスラグビーの小川仁士選手とお写真を撮らせていただきました。銅メダル獲得おめでとうございました!



東京こどもホスピスプロジェクト

難病や重い障がいのこども、そして家族を支える「こどもホスピス」の開設を目指すNPO法人東京こどもホスピスプロジェクト代表理事の 佐藤良絵さんと、武蔵村山市の東京小児療育病院をお繋ぎました。意見交換をし、今後お互いできることを協力し連携していくことになりました。



【清水あやこ後援会に加入してくださる方募集中】会費は無料です。ホームページの「後援会入会」からまたは、koreadoresudesu@docomo.ne.jpに、「後援会入会希望」として、住所、氏名、電話番号を送信してください。いただいた個人情報は後援会事務局で管理し、後援会に関する事以外の目的に使用されることはありません。応援よろしくお願ひします。

清水あやこプロフィール

・昭和54年4月24日神奈川県藤沢市生まれ。・自衛官の夫、高校生2人、小学生1人の子供がいます。・植物が大好きで、コウモリラン、多肉植物、クリスマスローズなどを育てています。
〒208-8501 東京都武蔵村山市本町 1-1-1 武蔵村山市役所
議会事務局清水彩子宛



MAIL

清水あやこ
ホームページ武蔵村山市議会
ネット配信ページ

武蔵村山市議会議員 清水あやこ 活動報告

あやこ REPORT

あやれば

安心できる優しいまち武蔵村山市に

2022年になりました。

当たり前だと思っていた暮らしが、当たり前ではないことに気づかされた2020年、2021年を経て、自分が健康であること、大切な人が健康であることの尊さを感じています。皆様の大切な人たちの暮らしを、私も一緒に守りたい!安心できる優しいまち武蔵村山市にしたい!そうした思いで、2022年も進んでいきます。

12月議会の一般質問

第4回定例会(12月議会)では、「河川環境について」と「ナラ枯れの樹木の被害について」2項目質問しました。皆さんは、武蔵村山市を流れる河川に入ったことはありますか?親水緑地広場に下りたことはありますか?殆どの方が、河川を身近に感じてはいないのではと思います。遊歩道もアジサイなどで花がいっぱいになり、花の手入れ、清掃などに市民も携わり、交流が持てたら、環境保全だけでなく、福祉的な効果も現れるように思います。



「ナラ枯れ」をご存知でしょうか。武蔵村山市でも、狭山丘陵、大南公園、野山北公園、西大南樹林公園、伊奈平海道緑地などで、多くの樹木が被害に遭って伐採されています。子供たちのために、自然を守っていきたいですね。自分では訴えかけられない動植物の代わりにも、12月議会では「河川環境について」と「ナラ枯れの樹木の被害について」質問しました。

河川環境について

(清水彩子の質問)

平成9年の河川法改正から、河川管理の目的であります「治

水・利水」に「環境」が追加されて以降、多自然川づくりや自然再生事業等の治水・利水・環境が一体となった河川整備が求められるようになり、河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境など、多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理が行われるようになりました。

河川に生息する生物への配慮は益々強められ、環境へ配慮した公共事業を行うことが求められています。

地球規模で生物多様性を構成する主要要素の損失が続くなれば、狭山丘陵には、オオムラサキやアカシジミなど希少な動植物が生育・生息しており、これらの種を保全していくためには、自然環境に配慮した河川の親水護岸化なども必要です。

生物多様性および健全な生態系を保全するためには、外来植物対策を進める必要があり、外来生物の選択的な除去を行わない限り、外来植物が優占する植生となってしまうことが確認されていますので、河原植物を保全し、本来の「河原らしい植生」を維持していくことを推進していくいかと考えます。

人々が河川環境を大切にしていくためには、河川に親しむ事、河川に感心を持つ事が重要であり、河川環境を守る取り組みの推進、調査による実態把握が必要です。こうしたことから、①外来種の駆除について②環境調査について③河川環境への理解・啓発についてお伺いいたします。

(市の答弁)

市では、残堀川において、毎年、水生生物調査を実施してお



ります。近年では、コクチバスやオオクチバスなどの外来種の生息が確認されたものの個体数の増加は見られないため、現在のところ駆除は実施しておりませんが、引き続き監視体制を継続してまいります。

また、その他の環境調査につきましては、市内の6河川で定期的に水質調査を実施しており、水質等を継続的に監視することにより河川環境の状況把握と保全に努めています。

河川環境への理解・啓発につきましては、水質調査の結果を市のホームページにおいて公表するとともに、毎年、小学校四年生を対象に配布している環境副読本に市内河川の現状等を掲載し、市民への周知、啓発を図っております。

※再質問は、こちらをご覧ください。▶



親水緑地広場。階段で河川に下りられるのに、植物が茂り、水とふれあうことができません。水との境目がわからず危険です。



残堀川にある、こちらの親水緑地広場は、水は見えますが、広場と河川との段差が大きく、水を触れません。なだらかにし、子供たちが水に入って遊べる環境づくりを要望しました。

空堀川流域の、武蔵村山市以外の市では、河川環境に携わる市民の会があり、ゴミ拾いをしたり、東京都と共に、草刈りの際に切らないで欲しい在来種の確認をし保全したり、調査などもしています。



この水槽の写真は、NPO法人空堀川に清流を取り戻す会さんの、環境フェアでの展示です。空堀川で前日捕まえたそうです。

武蔵村山市の令和3年度の水生生物調査では、魚類が5種類で16個体が確認され、主なものとして、オイカワ、モツゴ、アブラハヤ及びドジョウが生息していることが確認されています。

(市の答弁)

市内の公園におけるナラ枯れ被害につきましては、現在、大南公園、西大南樹林公園、野山北公園などで確認されております。

ナラ枯れ被害が確認された樹木につきましては、他の樹木へのナラ枯れ被害を防止するため、原因である昆虫の拡散を防止するネットの設置などの対策を講じているところでございます。

また、倒木の危険性がある樹木につきましては、公園利用者の安全確保のため計画的に伐採を行っております。
なお、伐採により公園の緑が失われることの無いよう適宜、植樹などを行ってまいりたいと考えております。

※再質問は、こちらをご覧ください。▶



こうしたところに、アジサイと彼岸花とスイセンを植えてはどうかと提案しました。

そうすると、6月にアジサイが咲き、9月に彼岸花が咲き、1月にスイセンが咲き、管理がしやすく、一年を通して花を楽しめます。



野山北公園のナラ枯れです。昆虫が木を堀って中に入るため「フラス」という細かい木くずが確認されます。



西大南樹林公園のナラ枯れ。この公園は被害がないと言われていましたが、見つけたので市に通報しました。その後たくさん被害が出ました。



「つれてこられただけなのに 外来生物の言い分を聞く」

在来種を守るために駆除される外来種。なくなつて良い命なんて世の中にひとつもないのですが、駆除しないと在来種がどんどんなくなってしまいます。外来種がどうやって日本にやってきたのかがわかります。



大南公園のナラ枯れ。全国的にナラ枯れの被害が出始め、数年前市に確認した時には被害はまだ0本でした。近くで1本被害が確認されると、感染はあつという間です。

武蔵村山市の河川の素敵な場所をピックアップ

市内の河川を端から端まで自転車で確認している途中、素敵な場所をたくさん見つけました。皆さんもお気に入りの場所を見つけてみてください。



国土交通省が推進している ミズベリングプロジェクト

武蔵村山市の河川も、イベント、体操、読書、色々楽しみたいですね。

